

今月の表紙

医療法人社団鵬友会
ゆめが丘総合病院



部署の垣根を超えた結びつきを大切にしています

K
A
N
A
G
A
W
A

看護だより

Vol.220
2025.01



<救急科・HCU> 多職種によるチームワークが自慢です。重篤な心不全や呼吸不全の患者さん、周術期の管理が必要な患者さんを受け入れています



<5階病棟デイルーム> 明るく開放感があり、電車を間近に見ながらリフレッシュできるデイルームです。晴れた日には富士山も眺望できます

Topics

- 新春に寄せて
- [健康ひろば] 献血について
- [スペシャリストが行く] 小児プライマリケア認定看護師
- [目からウロコのお役立ち情報] 男性スキンケア
- 支部コーナー
- 新年お年玉プレゼント



2024年度 会員数 34,580名
(2024年12月2日現在)



公益社団法人神奈川県看護協会

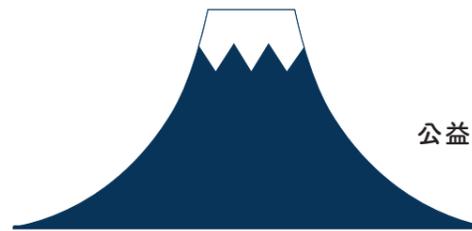
〒231-0037 横浜市中区富士見町3番1 神奈川県総合医療会館内
TEL.045-263-2901 (代) / FAX.045-263-2905
<https://www.kana-kango.or.jp/>



病院棟と健診棟の2つの棟より構成されています

病院紹介は12ページに掲載

「新春に寄せて」



公益社団法人神奈川県看護協会
会長 長野 広敬



新年あけましておめでとうございます。
2025年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

会員の皆様には、日ごろから神奈川県看護協会の事業運営に多大なご支援、ご協力をいただき、心から感謝申し上げます。

看護協会では、2022年に、10年後を目指した「ビジョン2033」をスタートさせ、今年で3年目になります。しかし、近年、協会財政が大変厳しい状況になっているため、財政再建を図りつつ、将来に渡って事業を継続していけるよう、現在、「ビジョン2033」の見直しに着手しています。

この見直しの方向性ですが、当初の「ビジョン2033」で掲げた価値観や長期的な目標は堅持しながら、目標の達成に必要な業務を厳選し、より効果的・効率的に業務を行っていくこととしています。

また、厳しい財政状況にある中でも、看護職能団体としてのミッションや社会的な役割を見失わないよう努めてまいります。

特に、本協会の理念である「命・自律・情熱」は揺るぎないものです。私たちのアイデンティティを守りながら、経営改善に取り組んでまいります。

超高齢社会に入り、看護・介護の需要は増大を続けており、それに伴い看護職の役割や活動領域はますます拡大しています。

このように、看護を取り巻く環境が激変する中、皆様が、看護の仕事を選び、誇りとやりがいを持って働き続けていくためには、働きやすい職場環境を作っていくことや、厳しい仕事内容に見合った賃金水準を確保していくことが欠かせません。

今後とも、看護協会は、県内の病院や施設などの課題を情報収集し、現場の実情を踏まえた解決策を、積極的に行政に提案・要望していきます。

また、看護職の皆様が、社会の期待に応え、ますます職場で活躍できるよう、スキルアップに役立つ様々な研修事業も充実させていきます。

今年は巳年です。巳年はヘビが脱皮することから「復活・再生」を意味し、新しいことが始まる年とされています。神奈川県看護協会も職能団体として、組織率や財政を「復活・再生」させ、会員の皆様のご活躍をしっかりと支えていけるよう、一丸となって取り組んでまいります。皆様の変わらぬご協力をお願い申し上げます。

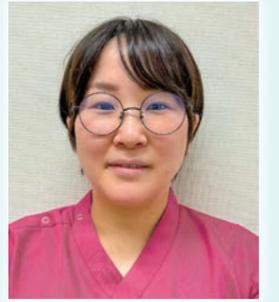


スペシャリストが行く!

小児

プライマリア

認定看護師



地方独立行政法人神奈川県立病院機構
神奈川県立こども医療センター
小児プライマリア認定看護師
森谷 幸絵

「その人やその場にあった最善を考える」

小児プライマリア認定看護師ってなに？

医療の進歩と共に、地域で生活するスペシャルニーズのあるこども達が増えてきます。そのため、こどもがいるあらゆる場で活動できることを目指して、2021年に小児プライマリア認定看護師教育課程が新たに誕生しました。今までの病院という主な活動場所から地域へも活動場所を広げ、様々な場所でこどもや家族の生活と医療をつなぐ役割が求められています。同教育課程を卒業し認定看護師を取得したのは現在（2024年9月時点）全国に17名で病院以外にも様々な場所で活躍しています。

なぜ認定看護師を目指したの？

私は今まで関わってきたこどもや家族から多くの事を学ばせてもらいました。その反面、様々な課題に直面し、やりがいだけでは乗り越えられないことも多くありました。更に、医療の進歩に自分の提供するケアや支援が追いついていない・と感じることもありました。「看護に正解はない、だから『その人にとっての最善』を考え続けることが必要」これは私が新人看護師の頃に先輩から教えてもらった言葉です。経験を積み重ねていく中で、それ

は現場で支援する人達に対しても言えるのでは？と感じ始めました。そんな時、新たな認定看護師が誕生することを聞き、自分自身の視野を広げるための挑戦として2022年に資格を取得しました。

現在の活動と今後について

現在は、病棟に所属しながら組織横断的な委員会で活動しています。仕事内容は所属病棟での看護実践の他に、院内外の勉強会の講師や、現場での困りごとの相談対応を行っています。それらの活動の中で、今まで得た経験を自分の中での当たり前という固定概念に変換していることに気づきました。そのため、まずは現場を見て聞いて知ることを大切にしています。メディカルスタッフに対する急変対応講習会では、実際に現場に行き、その場で起こりうる事や対処方法を話し合えるように工夫しています。また、新人看護師対象の講義においては、新人が普段何気なく発している疑問をキャッチし講義の中に盛り込み、知識と実践が繋がるように心がけています。実践の主役は現場にあるということを忘れずに、今後もその人や場に合った最善で継続可能な支援が行えるように努力していきます！



オンラインによる講義中



急変対応能力向上支援



献血とは

献血とは、病気の治療や手術などで輸血や血漿分画製剤^{※1}を必要としている患者さんのために、健康な人が自らの血液を無償で提供するボランティアです。

輸血に使用する血液は、医療技術が進歩した今日でも人工的に造ることができず、長期保存することもできません。また、献血いただく方の健康を守るため、1人の方が1年間に献血できる回数や量には上限があります。そのため、安定的に血液を医療機関へお届けするためには、1年を通じて多くの方に継続して献血にご協力いただく必要があります。

献血で集められた血液は、けがをしたときの輸血に使用されるイメージがありますが、それは全体のごくわずかで、8割以上は、がんなどの病気の治療に使用されています。

※1 血漿に含まれる血液凝固因子、免疫グロブリン、アルブミンなどのたん白質を抽出・精製したものです。

献血の種類

献血には、血液中のすべての成分を献血していただく「全血献血」と血小板や血漿といった特定の成分だけをいただく「成分献血」の2種類があります。採血時間は、全血献血で10～15分程度、成分献血は採血量に応じて40～90分程度かかります。

また、献血いただく方の健康を守り、輸血を受けられる方の安全性を高めるため、さまざまな献血基準があります。

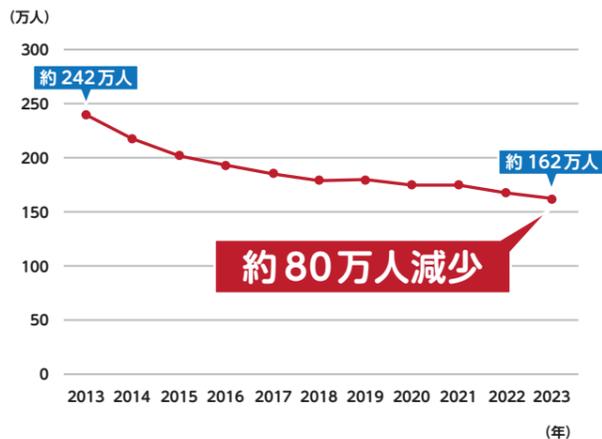


献血ができる場所

献血は献血ルームと献血バスで受け付けています。献血ルームは主に駅前など交通の便が良い場所にあり、神奈川県内には横浜駅や川崎駅など全7ヶ所にあります。献血いただく方が快適に安心して献血ができるよう、献血ルームには無料Wi-Fiなどを完備しているほか、雑誌や漫画、飲み物なども設置しています。2024年3月にオープンした横浜SKY献血ルームは、横浜駅から徒歩3分のスカイビル27階にあり、「空港ラウンジ」をイメージした空間になっています。

献血バスは、献血に必要な機材を車内に搭載し、ショッピングモールや企業、学校など、さまざまな場所で献血のお願いをしています。献血バスの運行状況は神奈川県赤十字血液センターのホームページに掲載しています。また、献血にご協力いただいた方へ感謝の気持ちとして、ALT (GPT) やコレステロールなど7項目の生化学検査成績およびヘモグロビン（血色素）濃度など8項目の血球計数検査成績をお知らせしています。数値の意味や基準値の説明などアドバイスもあり、自分の健康維持や管理に役立ちます。

図1 10代～30代の献血者数（全国）



原因と課題

日本国内では、少子高齢化等の影響により、主に輸血を必要とする高齢者層が増加し、若い世代が減少しています。特に、10～30代の献血協力者数は約10年間で約80万人減少しています（図1）。今後、少子高齢化がますます進んでいくと、血液の安定供給に支障をきたす恐れがあります。これからも輸血が必要な患者さんに血液を安定的に届けるためには、今まで以上に若い世代の献血へのご理解とご協力が必要となります。

また、患者さんの命を守る医療に使われている輸血用血液製剤^{※2}の必要量は、全国的に減少傾向ですが、首都圏を中心に大都市部では増加傾向にあります。特に神奈川県では、赤血球製剤の必要量が高まっております（図2）。加えて、血漿分画製剤の必要量が年々増大しているため、必要な血液を確保するためには多くの方に献血へご協力いただく必要があります。

※2 人の血液から作られる医薬品の総称で、輸血用血液製剤と血漿分画製剤に分類されます。輸血用血液製剤には、赤血球製剤、血漿製剤、血小板製剤、全血製剤があります。

輸血を受けた方からのメッセージ

神奈川県赤十字血液センターでは輸血を受けた患者さんやそのご家族からのメッセージ「ありがとうの声」を募集しています。メッセージには「献血の血液のおかげで生きていられます。助けてもらった命を大切にこれからの人生を家族と過ごしていきます」「輸血のおかげで息子の命が助かりました。現在は元気に小学校へ通っています」など、多くの感謝の言葉が綴られています。応募いただいたメッセージは神奈川県赤十字血液センターのホームページやSNS、YouTubeなどで公開しています。

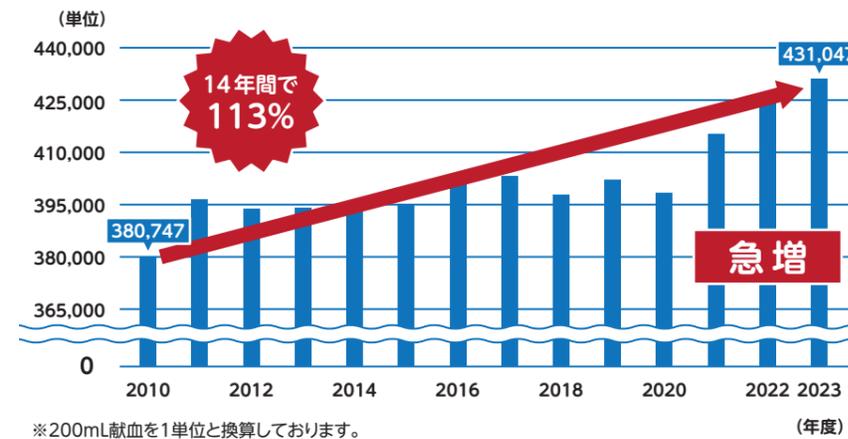
最後に

献血の血液からつくられる血液製剤は、がんなどの病気やけがの治療のために日々医療機関で多く使用されています。神奈川県内では1日900人の献血協力が必要で、ぜひ献血へのご理解とご協力をお願いいたします。

詳しくは
神奈川県赤十字血液センター HP を
ご覧ください! ▶▶



図2 赤血球製剤供給量の推移（神奈川県内）



過去最高の供給量を更新中

目からウロコのお役立ち情報

今回のテーマは…

男性スキンケア



ゴリラクリニック
総院長 稲見 文彦

男性の肌トラブルとその対処法

！ 髭剃り

男性特有の肌トラブルとして、まず髭剃りによるカミソリ負けが挙げられます。カミソリはよく切れる刃を使うこと、肌の上を滑らせるように使うこと、風通しの良い場所で保管することなど、基本的な使い方を守ることがカミソリ負けはある程度防ぐことができます。ヒゲが濃い方は、これらの対策が無効であることが多いため、根本的な解決方法として医療レーザー脱毛を受ける男性が急増しています。1年から数年かけて、複数回の通院が必要となりますが、カミソリ負けの頻度を減らすことが可能です。



！ シミ

シミは男女共通の肌トラブルですが、男性は女性に比べて紫外線対策が不十分です。そのためシミが多発したり、脂漏性角化症（紫外線によって生じるイボの一種）を生じたりすることが少なくありません。これらは専用のレーザー機器などを使って治療します。治療自体は数分で終わりますが、多少の痛みを伴ったり、ダウンタイム（赤みや腫れ、かさぶたなどが生じる期間）があったりするので普段からスキンケアを心掛けて、なるべくシミなどを作らないようにするのが良いでしょう。



！ ニキビ

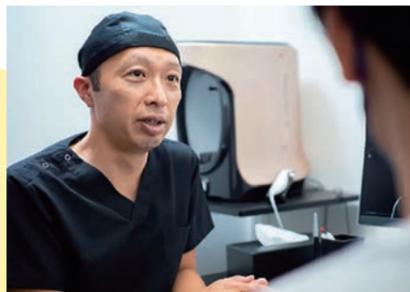
ニキビもシミ同様、男女共通の肌トラブルの代表です。ストレスやスキンケア不足、乱れた生活習慣などにより成人男性でもニキビが多発することは珍しくありません。ニキビは尋常性ざ瘡（じんじょうせいざそう）という名前がついた皮膚の病気なので、一般の皮膚科で治療が受けられます。また、自由診療での治療という選択肢もあります。例えばイソトレチノインは保険適応外の薬剤で、副作用なども少なくありませんが、様々な治療が無効であった重症のニキビを改善させることも可能です。またニキビ跡の陥凹も自由診療の範疇となります。

対策

このように様々な肌トラブルがありますが、対策として正しいスキンケアを行うことが非常に重要です。泡立てネットを使って洗顔フォームを泡立てて、撫でるように優しく洗うこと、すすぎを十分に行うこと、洗顔後は化粧水とクリームを使って保湿をすること、日焼け止めはたっぷり、顔全体にまんべんなく塗ること。これらは女性にとっては常識ですが、実践できていない男性が大半です。特に紫外線対策については外見上だけでなく、皮膚がんなどを生じる健康上のリスクを減らすためにも、ぜひ心掛けていただきたいと思います。



ゴリラクリニック
<https://gorilla.clinic/>



『よろず音楽隊』

～音楽サークルで出前演奏～

厚木市南毛利地域包括支援センター 杉本 幸華 / 鈴木 瑞穂



私たちは音楽サークルの仲間たちと、地域のミニデイや病院に向いて演奏活動を行っています。担当楽器は、鈴木はキーボード、杉本はカホン（打楽器の一種）です。音楽の力はすごいもので、心を癒し、元気を与えてくれると実感します。演奏中、聴いてくださる皆さんの表情がだんだん明るくなり、リズムに合わせて手を叩いたり、歌を口ずさんだりする姿を見ると、こちらまで心が温まります。日々の忙しさの中でも、この演奏活動の時間は私たちにとって大切なヒーリングタイムです。音楽を通じて笑顔が広がる瞬間が、心を豊かにしてくれます。



アンデスはこんな楽器

カホンはこんな楽器

緩和病棟での納涼会にて
○ 左からキーボード鈴木、
ギター石綿、アンデス中村、
カホン杉本



つぶらな瞳に癒されて

神奈川県立こども医療センター



神奈川県立こども医療センターのとある場所にウーパールーパーの「ウータン」はいます。2年ほど前に、こどもたちに「癒し」だけでなく「命の大切さ」も感じてほしい、という願いのもとウータンはやって来ました。生き物係に任命された看護スタッフが餌をあげたり水槽の掃除をしています。弱視のウータンのために、餌のあげ方を工夫したり、太ったり痩せたりするのに気づいて餌の量を調整したりしているそうです。もちろんこどもたちだけでなく、スタッフの癒しにもなっています。ちょっとイライラしたときなど、ふと視線を感じたりして、そんな時はウータンがこちらを見ていて「大丈夫だよ」と言ってくれているような気持ちになるそうです。

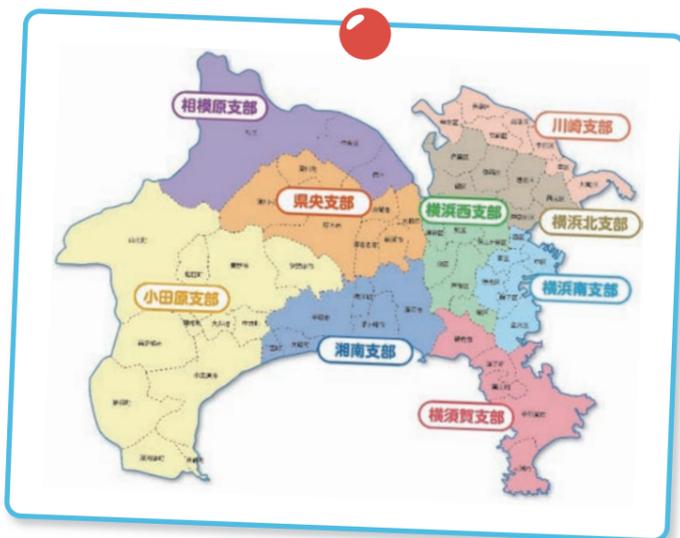


名前：ウータン
どうぞよろしくね！



支部 コーナー

このコーナーでは、各支部の活動やお知らせを掲載しています。
今回は、川崎、横浜北、横浜西、横浜南、横須賀の5支部からの報告です。



川崎支部

(川崎区、幸区、中原区、高津区、宮前区、多摩区、麻生区)
支部長 福永 ヒトミ (日本医科大学武蔵小杉病院)

「会員に役立つ研修」を目指して

川崎支部では、「保健・医療・福祉の知識の普及を通して看護職の質の向上を図るとともに、地域住民の健康の保持増進に努める」という活動目標を掲げ研修等を企画・運営しています。

2024年7月に「急変時の看護・初級、中級編」を聖マリアンナ医科大学の診療看護師(NP)3名を講師に招き、実技演習を開催しました。29名が参加し、総合的にBLSの体験や、フィジカルアセスメントについて知ることができました。参加者からは、最新の考え方、指標、実践が体験出来て良かったとの感想があり、96.6%が期待通りとの評価でした。2024年8月の研修は、台風のため中止となりましたが、11月は、「ダイバーシティへの取り組み」2025年1月は、「心のザワザワがなくなる、比べない習慣」を企画しています。
皆様のご応募をお待ちしております。



「急変時の看護・初級、中級編」研修

横浜北支部

(鶴見区、神奈川区、港北区、緑区、青葉区、都筑区)
支部長 三上 朋子 (汐田総合病院)

「日本を取り巻く災害の数々」～看護師だからできること～

横浜北支部は昨今激増している「災害」をテーマに、今年度も、横浜労災病院救命救急センター長 救急災害医療部長 中森知毅先生を講師にお招きして研修会を開催し、35名が受講しました。日本を取り巻く災害では、地震災害が多く、最近では、地球温暖化に伴う大雨・豪雨災害の増加があり「今日の支援者は明日の受援者かもしれない」という危機感を持って災害について考え、備える重要性について学びました。また、発災後の直接関連死はもとより、間接関連死を防ぐためにも、生活支援を知っている、看護師の力が重要であり期待しているとのエールをいただきました。

受講者からは「日本は災害から免れられない現状にあることを実感しました。」「災害が起きた後の支援体制について学ぶことができました。」「能登半島地震の状況も知ることができ、リアルに怖さを実感するとともに、発災後に求められる看護師の役割を知ることができてよかった。」との感想が寄せられ満足度の高い研修となりました。



「災害」研修



横浜西支部

(保土ヶ谷区、旭区、戸塚区、栄区、泉区、瀬谷区)
支部長 兼子 友里 (聖隷横浜病院)

「地域とつながる看護活動～健康保持増進の支援活動～」

7月と9月に「まちの保健室」活動として地域ケアプラザで行われた健康フェスタへ参加しました。健康機器を活用した健康チェックは身体が可視化されてご利用者の方々にとても好評でした。良い結果が出た方から、健康維持の秘訣や日常生活の工夫を私たちに話してくださいました。その様子から病院施設で働いている看護師が思っている以上に地域住民の健康意識は高いと感じました。また、地域住民を支援するケアプラザ職員の方やボランティアの方々と協働し、交流できたことも有意義でした。医療・福祉・介護の連携は各職種や機関が補完し合える関係が構築されます。

それは地域住民にとって健康保持の最強ネットワークであると思います。11月は区民まつりへ参加します。

今後も地域住民の健康保持増進活動に取り組んで参ります。



地域住民との交流会



保健指導の様子

横浜南支部

(西区、中区、南区、港南区、磯子区、金沢区)
支部長 辻村 陽子 (厚済会)

「看護のネットワークで地域をつなぐ」

横浜南支部では“地域住民の健康保持・増進に貢献”、“看護の質向上”、“会員相互の交流を深める”という活動目標を掲げ、研修等を企画・運営しています。9月に弁護士を招き「ハラスメント研修」を行い、具体的な事例を通して、法的な側面から職場で活かせる学びの機会となりました。11月は臨床心理士による「発達障害研修」を行い、対象者への理解と支援のあり方について知識を深めることができました。2025年1月にはクリティカルケア認定看護師による「新人フォローアップ研修」を予定しています。多くの方の参加をお待ちしています。

今後も支部活動を通して、看護職同志が顔の見える関係性を築き、地域の方々への看護の質の向上を目指していきたいと思ひます。



「ハラスメント」研修



横浜南支部役員

横須賀支部

(横須賀市、鎌倉市、逗子市、三浦市、葉山町)
支部長 山本 潤 (神奈川歯科大学附属病院)

「令和6年能登半島地震災害支援の報告～現状報告と今後の課題～」

2024年6月28日に横須賀市生涯学習センターで講演会を開催しました。演者は地震直後に出向した自衛隊入間病院の看護師と、発災数日後に出向した横須賀市保健所企画課の保健師と事務職の方でした。報告内容は私たちの防災意識を高め、心構えや準備についてより具体的に考える機会となりました。南海トラフなど今後起こると予測されている災害に対し、日ごろの備えの再確認が呼びかけられています。

平時からの業務が災害時の役にたつとの内容に、参加者より有意義な講演会であったとの評価を頂きました。

今後も会員の皆様のお役にたてるような研修の開催を目指します。

最後に、被災者の皆様の1日も早い復興を祈念しております。



3名の講師の方々



改選役員の推薦及び立候補について 推薦委員長 鈴木 千恵

公益社団法人神奈川県看護協定会款第25条に基づき、2025年6月通常総会をもって任期満了となる役員について次のとおり改選します。本協会会員の中から協会活動を推進する有能な人材を得るため、推薦基準に該当する方をご推薦くださいますようお願いいたします。

【改選役職名及び人数】

役職名	人数	役職名	人数
会長	1	看護師職能理事Ⅱ (介護・福祉関係施設・在宅領域担当)	1
副会長	2	川崎支部理事	1
専務理事	1	相模原支部理事	1
常務理事	1	湘南支部理事	1
保健師職能理事	1	准看護師理事	1
看護師職能理事Ⅰ (病院領域担当)	1		

任期

2025年6月通常総会終結の時
～2027年6月通常総会終結の時

推薦基準

- 神奈川県看護協会の目的に沿って組織を強化発展させるよう実践できる人
- 会員歴が3年以上の人

- 会員の実情をよく知り、定められた会議に出席して、それを反映できる人
- 公益社団法人神奈川県看護協定会款21条の役員の欠格事由に該当しない人
なお、推薦いただいた方々については、推薦委員会で検討の上、候補者として推薦させていただきます。

推薦方法

推薦を行う場合は、被推薦者の承諾を得てから、所定の用紙に必要事項を記入の上、2025年2月21日(金)までに、推薦委員長に届け出てください。〔提出書類：2025年度役員推薦書、2025年度役員被推薦承諾書〕

立候補の方法

立候補しようとする方は、会員5名以上の推薦を受けて、所定の用紙に必要事項を記入の上、2025年2月21日(金)までに会長に届け出てください。〔提出書類：2025年度役員立候補届〕

問合せ 総務課 総務班 稲田
☎045-263-2914

※届出用紙が必要な場合は担当までご連絡ください。

理事会報告

第3回 2024年9月21日(土)

I 審議事項

1 職員就業規則等の改正について 承認

II 協議事項

- 1 看護協会財政の中長期的見通しについて 承認
- 2 2025年度当初に向けた財政再建のための施策パッケージ(素案)について 承認
- 3 ビジョン2033 10年後のめざす姿 改定版(素案)について 承認

III 報告事項

- 1 業務報告
 - 1) 会長・専務理事・常務理事業務執行報告
 - 2) 日本看護協会理事会・法人会員報告(7/25-7/26、9/20)
 - 3) 2025年度予算にかかる行政要望の提出報告
 - 4) 認定教育課程・学会・研修会等について
 - 5) 会員交流会について
 - 6) 第2回山吹公園フェスについて
 - 7) ナースセンター年報について
 - 8) まちの保健室開催報告
 - 9) 湘南国際マラソン、横浜マラソン2024について
 - 10) 日本看護協会入会促進計画中間評価
 - 11) 看護研究倫理審査会実施報告
- 2 職能・支部理事報告

会員の皆さまへ

A～Dの希望賞品を選んでね!

- A 30,000円旅行ギフト券 1名様
- B 10,000円全国共通食事券 5名様
- C 5,000円Amazonギフト券 15名様
- D 3,000円クオカード 40名様

※ご希望賞品が当選されなかった方の中から50名様にはみがきセットを差し上げます!

【応募方法】

1. 「LINE」からの応募

LINEの登録がまだお済みでない方は、上記QRコードにてお友達登録をしてお応募ください。

2. 「ハガキ」による応募

(送付先) 〒231-0037 横浜市中区富士見町3-1
公益社団法人神奈川県看護協会
広報出版委員会「お年玉プレゼント」宛

【応募記載内容】

- ①郵便番号・住所 ②氏名 ③電話番号
- ④会員番号 ⑤希望商品 ⑥看護だよりの感想
- ⑦今後記事として取り上げて欲しい事柄、新企画案など

★お申込みは、LINEかハガキのどちらか一方のみで、お一人様1回に限らせていただきます。
(注)記載事項に不備のある方は、無効とします。

【締切】2025年1月17日(金)必着

【抽選・発送】

- 厳正な抽選(抽選アプリを採用しています)の上決定し、当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。(商品の発送は、2月に発送を予定しています)
- ※頂いた個人情報は、賞品の発送のみに使用し、他への転用はいたしません。

昨年度 当選者の喜びの声! 当選しました!

D賞に当選しました!
応募したことも覚えてなかったので帰宅して郵便を見てなんだろう?と開封してみると! 看護協会は大きな組織なのに、こんなに身近な存在だったんだとびっくりしました。一人一人の声が届いていることも意外な驚きでした。

お年玉企画のB賞でお食事券10,000円が当たりました～!! 仕事で気持ちが滅入ることがあり、リフレッシュの旅に夫婦で出掛け、帰ってきたら、プレゼントが届き滅入っていた気持ちも少し晴れ、気分が上がり、思わずやっとなんか声が出ました!! いくつになってもなにかに当選するって気持ちが上がりますね!! 本当に嬉しかったです!! <運の悪い私が当たったので応募する価値アリです! 食事券などのプレゼントはものすごく嬉しいので、これからもこのような企画を楽しみにしたいと思います。勿論看護だより読んでいます!

A賞当選しました!
看護協会入会から42年目! 何度かチャレンジしたお年玉プレゼントに今年は、なんと! A賞当選という吉報を天皇誕生日(2/23)に簡易書留で拝受いたしました。娘は看護協会員12年目を迎え、過去にお年玉プレゼントの1度当選経験があり(クオカード3,000円?)でした...娘より強運の私!
今回のA賞当選は、我が家のくじ運では最高額当選となりました。そして、自らの当選体験で「A賞当選1名」という文言が事実である事、チャレンジし続ければ必ず結果はついてくる事を確信いたしました。看護の道を選択した娘共々、このA賞当選体験を、生涯現役・人生100年時代を生き抜く力に変えていきたいと思っております!

お年玉プレゼントD賞を頂き、感激しました! 当選するとは夢にも思っていなかったもので、喜びもひとしおです。お年玉はあがる立場で、久しくもらっていませんので、凄く嬉しくて、職場でも、家族にも、みんなに自慢してしまいました。みんなで美味しい物を食べに行こうと、予定をたてています。今後とも、楽しい企画を期待しております。今回は本当にありがとうございました!

応募していたことを忘れていたので、郵便物を見たときに驚きました。思いがけずにご覧いただくことができたクオカードで、疲れたときや頑張ったときに自分へのご褒美を購入したいと思っております。この度はありがとうございました。

このほかにも当選者様からたくさんの喜びの声を頂きました!

相談員／公認心理師 渡邊香織先生
対象／県内で就業中の看護職員及び看護補助者
予約方法／申込フォームでお申込ください

相談方法／Zoomによるオンライン相談(50分間)
(ビデオをオフにしての相談も可能)
相談日／主に第2土曜日の09:00～17:00と
第4火曜日の17:00～24:00で実施
※詳細の日時は申込フォームでご確認ください。
問合せ／神奈川県健康医療局保健医療部医療整備・
人材課 ☎045-210-1111(代)



お申込はこちら

<https://t-mental.online/soudan2024>
(希望予約日時の24時間前まで予約可能)



こんにちは事務局です

TEL. 045-263-2901 FAX. 045-263-2905

2025年度新規入会・再入会 申込み受付中!

■新規・再入会の方へ

2025年度の手続き受付中です。
有効期間／2025年4月1日～2026年3月31日
入会費／20,000円(当協会へ初めて入会する方)
年会費／11,000円(日看協5,000円+当協会6,000円)

■継続の方へ

①「2025年度継続のお知らせ」を圧着ハガキで郵送しました。自動継続のため、会員情報に変更がない場合は、手続き不要です。変更申請はキャリアースでお願いします。申請用紙が必要な場合は、問合せまでご連絡ください。



会員専用ページ
キャリアース

②2025年度会費納入について

口座振替の方／2025年2月27日(木)引落予定です。
銀行・コンビニ振込の方／払込用紙でお支払いください。
施設とりまとめの方／担当の方がとりまとめ、施設専用口座へお振込みください。
問合せ／企画運営課 会員担当 ☎045-263-2918

2025年度 年会費

納入方法「口座振替」引落日
2025年2月27日(木)

看護師職能委員会Ⅱ ハイブリット研修

日時／2025年2月22日(土)
会場／神奈川県総合医療会館 5階
ナースセンター研修室とZoom
内容／「住み慣れた場所で自分らしく過ごすために
～在宅医療とこれからの地域づくり～」
講師／医療法人社団オレンジ
理事長・医師 紅谷浩之氏
※遠方からZoomによるリモート講演
参加費／非会員1,000円(会員無料)
定員／会場50名、オンライン100名
申込締切／2025年2月7日(金)
問合せ／訪問看護課 ☎045-263-2909

2025年度研修事業説明会

神奈川県看護協会が実施する研修事業の基本方針および関連する事業の説明会を開催します。是非、ご参加ください。
日時／2025年2月26日(水)
14:00～15:00(受付13:30より)
対象／県内の看護職
参加方法／オンライン(Zoomによるリアルタイム配信)
参加費／無料
締切／2025年2月16日(日)
問合せ／研修課 継続教育班 ☎045-263-2926
*詳細はホームページをご参照ください

編集後記

会員の皆様、明けましておめでとうございます。今年も、お年玉プレゼントを企画しております。多数のご応募お待ちしております。会員の皆様に役立つ広報誌作りを目指します。どうぞよろしくお願いいたします。(H・I)

神奈川県ナースセンターから
お知らせ

Vol.218、Vol.219に掲載いたしました「看護職のためのポータルサイトNuPS」については、提供開始が2025年秋以降に延期となりました。

表紙の写真

職員一人ひとりが力を合わせて、VUCAの時代に対応する新病院です

医療法人社団鵬友会 ゆめが丘総合病院(横浜市泉区)

当院は、救急機能を中心とした急性期医療及び地域住民の健康を守ることに主眼を置いた、健康スマートシティの中心としての機能を強化拡充した病院として2024年4月に開院しました。「私たちは、看護の力で、地域の皆様のいのちと生活を支えます」という看護部理念に基づき、患者さんの治療や生活環境を整え、安心・安全な看護の提供を目指しています。そして、看護師として高い倫理観をもち、患者さんの意思決定を支え権利を尊重する役割を果たすこと、急性期看護を担う専門職として、自ら学び続ける看護師を育てることを大切にしています。 副病院長兼看護部長 齊木 由紀子



<カンファレンス>
各部門が活発に意見を出し合います。